

富田牧子のチェロとアンサンブルのレッスン

～耳を澄まして、楽器の音を引き出す～

☆チェロの個人レッスン☆

初心者から様々なレベルの経験者まで、よい音で豊かな音楽をしていきたい方のためのレッスンです。基礎を大切に、耳を開いて、よく音を聴きながら演奏技術を磨いていきます。力任せに弾いても楽器は言うことをきいてくれません。その楽器が本来持っている音色を存分に引き出すためには、からだの緊張を取り、効率的に力を使う必要があります。それぞれの身体条件や音楽性に合った奏法を主体的に探していただくことにより、末永くチェロの演奏を楽しんでいただきたいと願っています。

ご興味のある方には、モダン楽器にもガット弦の使用をおすすめしています。ガット弦はスチール弦のように簡単に音が出ないので最初は難しく感じるかもしれませんが、天然素材特有の心地よさと表情の豊かさがあり、よい音、よい奏法を追求するうえでむしろ近道と言えるでしょう。もちろん最初はスチール弦がかまいません。また、まったく初めてで楽器をお持ちでない方、小さなお子さんも歓迎です。お気軽にご相談ください。

1レッスン 60分 8000円（+会場代実費）

場所：東京都府中市（個人レッスン、弦楽器の二重奏のみ可能）

京都市北区（個人レッスンとアンサンブルレッスン）

ペルーガオルガン練習室（横浜市・関内駅3分）

ベアータオルガン練習室（新宿区・江戸川橋駅5分）

☆アンサンブルのレッスン☆

弦楽器の二重奏、三重奏、四重奏、また弦楽器とピアノのデュオなど、すでに自分たちでアンサンブルをしている人たちのためのレッスンです。コンサートの前（直前ではなく、2～1か月前がおすすめ）にアドバイスを欲しい、という方はもちろん、基礎を学び直してアンサンブルのレベルを底上げしたい、というグループ也大歓迎です。

倍音を聴いて楽器を共鳴させ、お互いの音を調和することが基本です。自分と相手の音をよく聴き、音に身体が反応するようになると、アンサンブルの質は格段にアップします。ベートーヴェン、ブラームスなど古典派～ロマン派の作品はもちろん、バロックから現代のレパートリーまで、常にバリオド奏法の視点を持ちながら、生き生きしたアンサンブルを楽しめるよう、音作り、音楽作りのお手伝いをします。例えば、音楽大学でピアノと弦楽器のためのソナタを学んでも、「対等な二つの楽器でコミュニケーションをする」というデュオの観点からのレッスンにはならず、ピアニストは伴奏者になってしまうことが多々あります。二人でどのように音楽を作っていけばいいのか、楽譜をどうやって読むか、など、一緒に考え、色々試して、音にしていきたいと思います。

1レッスン 90分 16000円（+会場代別）が基本です。

レッスン時間と会場は内容によりご相談。ふだんお使いの練習場所に伺うこともできます。

お問い合わせ：^{エムエー}MA企画 kikaku_ma@yahoo.co.jp

電話 03-6317-8916（ベアータ）



体験！弦楽ワークショップ

@BEATA 第3回



2019年7月13日(土) 10:30~12:30

「耳を澄まして楽器の音を引き出す」チェロ個人レッスン／アンサンブルレッスンに興味を持たれた方、まずは弦楽ワークショップに参加してみませんか？倍音を聴いて楽器を共鳴させ、音の調和を感じてみましょう！

レベルを問わず、チェロのほか、ヴァイオリン、ヴィオラもOK。自分の楽器を持っていて弾いている人が対象です（まったく初めての方、楽器のない方は枠外でご相談に応じます）。ガット弦を使用している方も参加されています。

初めはお一人10分程度、講師とマンツーマンでのクリニック、そのあと一時間アンサンブルを試みます。まず全身をほぐすことからスタート。音をよく聴き、開放弦をたっぷり鳴らし、倍音を聴きながら、オクターブ、5度、3和音を重ね合わせていきます。こうしたアンサンブル的な思考はソロで演奏する時にもたいへん役立ちます。バッハのコラールなどを弾いてみたいと思います。

参加費：6000円 定員：6名

場所：ベアータオルガン練習室（江戸川橋駅5分／神楽坂駅8分）

申込・問合せ：beata@ab.auone-net.jp 又は fax 03-6317-8916（ベアータ）

1) お名前 2) 携帯電話の番号 3) メールアドレス 4) 最近練習している曲をお知らせください。

*チェロの方はエンドピンストッパー（ホルダー）をお持ちください。

*譜面台あります。

*動きやすい服装でお越しください

富田牧子（チェロ奏者）

東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。ヨーロッパ各地の音楽祭や講習会、ニューヨークでH. シャピロ氏の指導を仰ぐなど、ソロと室内楽の研鑽を積む。大学院修士課程修了後ハンガリーに留学、バルトーク弦楽四重奏団のL.メズー氏に師事。バロックと現代のスタイルの楽器にガット（羊腸）弦を張り、ソロリサイタルや室内楽の他、様々な楽器との組み合わせによる「充実した内容の音楽を身近で味わうコンサート」の企画を続けている。
2017年パーカッション奏者コスマス・カピッツァ氏とのデュオ《羊とヤギ》でCDをリリース。

